

## 第16回企画委員会議事要旨

2020年7月1日(水)

日時 2020年7月1日 17:00～18:30

場所 ズームにて開催

出席者

(企画委員会委員、オブザーバー、部会委員)

駒村委員長、朝日委員、有村委員、池田委員、石崎委員、奥田委員、久保寺委員、西岡委員、丸物委員、村木委員、岡崎全体委員会委員、山田全体委員会委員、松井海外状況整理部会部会長

(上記以外の出席者)

日本財団、ダイバーシティ就労支援機構

### 1. 事務局説明

(1) 2019年度報告書完成の報告

○近く、ダイバーシティ就労支援機構のHPに搭載予定。

(2) 2020年度計画修正案の説明

○第14回企画委員会(2月25日開催)で了解いただいた2020年度事業計画について、コロナウイルス問題への対応等を踏まえた修正案につき事務局説明。了解得る。

### 2. 海外状況整理部会報告書

(2019年度海外部会報告書と2020年度の検討内容につき事務局から説明、その後意見交換)

(1) 事務局からの説明

#### 1) 2019年度報告書内容

イギリス、フランス、ドイツ、フィンランド、デンマークについて、①～④を整理するとともに、ソーシャルファームについて、概念整理とイタリア、ドイツ、イギリス、オランダ、フィンランドの事例を紹介した。

- ① 障害者に対する就業対策(一般就労、支援付就労、保護就労)
- ② 生活困窮者に対する就業対策
- ③ その他働きづらさを抱える者に対する就業対策
- ④ 「ダイバーシティ就労化」の動向
- ⑤ ソーシャルファームの動向

#### 2) 2020年度の検討方向

2020年度においては、

- ① 2019年度報告内容のより掘り下げた検討、
- ② 今回あまり取り上げていない課題(ソーシャル・インクルージョン施策の全体

概要、社会的障害者等を含む方向での「障害者」概念の拡張等)の整理、

③ 各国における「働きづらさを抱える人びと」の働き方に対する、コロナ禍による中・長期的影響(可能な範囲で)、

④ 日本の取組みとの比較、

を行っていただきたいと考えている。

(2) 松井海外部会長による補足説明

○欧州等では、障害者の定義が広く、部分的にはダイバーシティ就労が実現している。

○日本では、福祉部門と労働部門がバラバラだが、欧州の場合、地方レベルでは一体的に展開している。国と自治体でやることが整理されている。

○コロナによって、障害者等の働き方が変わりつつある。どのようにデータを取るのか。現地専門家の協力を求める等考える必要がある。

(3) 意見交換

○ドイツでは、職業資格を得るための訓練が充実している。

○コロナウイルス問題下、現地調査は難しい。現地調査なくても、成果が得られるようにしてほしい。

○コロナの影響、一国全体では難しい。例えば、首都だけの状況なら、現地専門家の協力を得て可能かもしれない。

○行政施策情報は入手できるが、それ以上入手できるかどうかはわからない。

○日本の状況を海外の方に話せるかといえば難しい。各国の状況を特徴づける取組みの概要(一般的なコロナ対策+障害者その他の働きづらさを抱える者へのコロナ対策)をまとめるくらいか。

○コロナで、就労困難者の幅が大きく広がったのではないか。欧州各国でのその状況把握をしてもらえるとありがたい。

○コロナの影響で、仕事内容が一変し、働き方改革が大きく加速した。在宅ジョブが大きく増えた。ともあれ、企業業績が悪化し、働き方改革で仕事が減っていて、先行きが見通せない。海外の状況を知りたい。

### 3. 経済・財政・社会保障収支・労働需給バランス部会報告書

(2019年度バランス部会報告書と2020年度の検討内容につき事務局から説明、その後意見交換)

(1) 事務局からの説明

1) 2019年度バランス部会報告書

○2019年度はモデル事業の効果分析の考え方を整理した。2020年度はモデル事業のデータを取得するのが難しい状況となったので、雇用就業効果について何らかの仮定を設けて便益の推計するなどの方法を考える。

2) 2020年度の検討方向

○事業計画では、「モデル事業の実施状況を踏まえ、モデル事業の成果についての

中間的な検証を行うとともに、就労困難者の就職支援の経済・財政・社会保障収支

への影響についてのシミュレーションを行う。」となっているが、モデル事業は今年度あまり進みそうにない。その場合は、一定の仮定をおいてこうした条件ならこうした雇用効果が出る、といった試算を提示したい。

(2) 意見交換

- 障害者数は、精神障害を含めると900万人になるのではないか。  
⇒ 20-64歳で推計している。全年齢の数は報告書本体に記載しているが、960万人となる。
- コロナの影響分析はバランス部会では難しい。